

# 松山市駅

営業開始：明治21年10月28日(1888年)～



昔

明治21年10月、松山～三津間の起終点駅として営業を開始。その後、「外側(とがわ)」、「松山」と改称。昭和2年、当時の国鉄開通に伴い、現在の駅名になりました。昭和46年の「いよてつそごう」「松山市駅前地下街」の開業に伴うターミナル化、平成13年の全面改修を経て、現在では1日の平均乗降数が約2万人と当社で最も賑わう駅です。



今

伊予鉄歴史写真館

# 伊予鉄道 125年 駅舎の 今昔。

～手きつないで待っていたあの頃  
今もまだ覚えていますが～

# 古町駅

営業開始：明治21年10月28日(1888年)～



昔

松山～三津間の開業とともに「三津口」として営業を開始し、翌年7月に「古町」に改称しました。平成17年の地下通路廃止、スロープ設置などのバリアフリー化工事により、人にやさしい拠点駅として生まれ変わりました。隣接する車両基地には、軌道線・鉄道線の車庫と工場、検修場があり、駅構内からも出入庫する車両が多く見られます。



今

# 三津駅

営業開始：明治21年10月28日(1888年)～



昔



2代目

駅舎のレトロなデザインが特徴で、現在の駅舎は、昭和6年の高浜線電化および複線化に伴い改築された2代目駅舎を平成21年に77年ぶりに改修した3代目駅舎です。従来の相対式ホームから島式ホームに改良しスロープや音声誘導などを設置してバリアフリー化。夏の風物詩である三津浜花火大会では、臨時電車も運行され、多くのお客様で賑わいます。



今

伊予鉄歴史写真館

## 伊予鉄道 125年 駅舎の 今、昔。

～手きつないで待っていたあの頃  
今もまだ覚えていますが～

# 梅津寺駅

営業開始：昭和6年5月1日(1931年)～



昔

2つのホームが2本の線路を挟むような形で設置され、さらに両側に出発信号機があるなどその形状は少し変わっています。平成16年の台風で海側のホーム付近が損壊した際、1つのホームのみで運行できたのはこの形状のおかげです。また、平成3年に月9ドラマの舞台となり主人公を真似てハンカチを柵に結びつける来訪者も大勢いたことで有名です。



今

# 高浜駅

営業開始：明治25年5月1日(1892年)～



昔

創立から約4年半後の明治25年に開業。その後、約500m北へ移転したものが現在の駅舎です。昭和42年3月、松山観光港の営業開始に伴い、県外に出る船は高浜港から松山観光港へ移され、高浜～観光港間ピストンバスの運行を開始しました。その後、バス乗降のため、ホームを延長するなど駅舎も一部改修されました。



今

伊予鉄歴史写真館

# 伊予鉄道 125年 駅舎の 今昔。

～手をつないで待っていたあの頃  
今もまだ覚えていますが～

# 道後温泉駅

営業開始：明治28年8月22日(1895年)～



昔

明治28年8月、道後鉄道の三津口～道後および一番町～道後間が開通し、「道後停車場」として開業。明治33年に道後鉄道を合併し明治44年に駅舎を新築しました。大正10年には松山電気軌道を合併し大正15年に駅舎を移築。駅名は昭和36年に「道後温泉」に改称されました。旧駅舎は昭和60年に解体、昭和61年に現在の駅舎に復元完成しました。



2代目



今

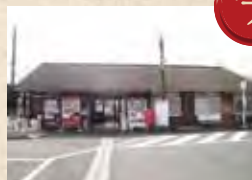
# 横河原駅

営業開始：明治32年10月4日(1899年)～



昔

明治26年、外側～平井河原(現平井駅)間が開通後、明治32年10月に平井河原～横河原間が開通して営業を開始しました。晩夏に重信川の河原で行われる観月祭の最寄り駅として毎年多くのお客様で賑わいます。平成23年10月には東温市のバス路線とダイヤ改正に合わせ、駅前広場をロータリー化しました。現役の駅舎では県内最古といわれています。



今

伊予鉄歴史写真館

## 伊予鉄道 125年 駅舎の 今昔。

～手をつないで待っていたあの頃  
今もまだ覚えていますか～

# いよ立花駅

営業開始：明治26年5月7日(1893年)～



昔

明治26年5月、「立花」として開業。その後、明治29年に森松線が開通し、昭和40年の廃止まで横河原線と森松線の分岐駅としての役割を果たしました。特に椿まつりの時には当時の坊っちゃん列車もピストン運行するなど大勢のお客様で賑わいました。昭和2年に現在の駅名に改称され、バスとの交通結節点として重要な役割を果たしています。



今

# 郡中駅

営業開始：明治29年7月4日(1896年)～



昔

明治29年7月に営業開始、昭和12年7月に現在地に移転しました。昭和14年に郡中～郡中港間を延伸。当時の郡中は名のとおり伊予郡の中心であり、人口の増加や大口電力の需要、貨物輸送の倍増など当社にとって、郡中線の改良工事、郡中港駅の新設は力の入れどころであったようです。現在の駅舎は平成5年に改築されたものです。



今

伊予鉄歴史写真館

## 伊予鉄道 125年 駅舎の 今、昔。

～手をつないで待っていたあの頃  
今もまだ覚えていますか～

# 余戸駅

営業開始：明治29年7月4日(1896年)～



昔

明治29年7月、南予鉄道の藤原～郡中間開通と合わせて営業開始。明治33年に南予鉄道を合併し、「藤原」を廃止して「外側(現松山市駅)」まで延長しました。沿線人口の増加に対応するため、昭和25年に郡中線が電化されました。現在、駅前から電車連絡バス余戸・今出ループ線が運行し交通結節点の役割を果たしています。



今

# 今はなき森松線



さよなら列車となったDB-6

森松線は明治29年1月に開通。立花駅を起点に石井駅と終点の森松駅までのわずか4.4キロと短い路線でした。特に樺まつりのときには、当時の坊っちゃん列車も終日ピストン運行でそれは昭和28年にディーゼル化されても同じでしたが、バスの台頭により69年目の昭和40年12月をもって廃止されました。



## 伊予鉄道 125年 駅舎の 今昔。

～手をつないで待っていたあの頃  
今もまだ覚えてますか～

営業開始：明治29年1月26日(1896年)～昭和40年11月30日(1965年)

### 石井駅



石井駅ホーム



のんびりとした和風のたたずまいをみせる石井駅

### 森松駅



終点駅の案内板



森松駅から松山市駅に向けて出発する列車